

緊急赤潮情報 R4-8

令和4年7月27日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

周防灘（長洲漁港）にて有害赤潮プランクトンであるカレニア ミキモトイが警戒密度を超えて確認されました。漁業被害の未然防止に努めてください。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査 月日	調査場所	調査 時間	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	カレニア ミキモトイ (細胞/ml)
7月26日	長洲漁港 (中港)	12:00	0	-	-	29,750

採水・検鏡：大分県農林水産研究指導センター水産研究部北部水産グループ

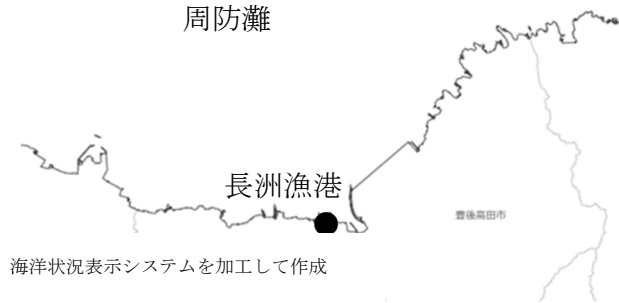
カレニア ミキモトイ

・注意密度

200 細胞/ml

・警戒密度

2,000 細胞/ml



(カレニア・ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

(赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活け~~め~~出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。